

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	理科「電気と私たちの生活」
学年	小学校第6学年
目標	プログラミングを活用することで、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具やプログラムで電気を制御する道具がたくさんあることに気付く。
教材タイプ	ビジュアル型プログラミング言語
使用教材	micro:bit(マイクロビット)
環境	児童 35 人で 35 台の端末を使用
都道府県	愛媛県
実施校	松山市立東雲小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>1 授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ①本時の課題をつかむ。 ②ルールと基本操作を確認して misro:bit でプログラミングを進める。 ③アイデアを出し合い共有し、どんどん進める。 ④作成したプログラムを紹介し合う。 ⑤身の回りのプログラムで制御されているものを探す。 ⑥振り返りをする。 <p>2 授業の様子 (プログラミングを取り入れた場面を中心に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同時にたくさんのライトをつけるのは大変であることを感じ、電光掲示板を例にして、電気製品の仕組みに気付く。 ○micro:bit を使って、自分なりの電光掲示板を作成する。 ○情報共有をし、そこからプログラムの修正をかける。 <p>3 児童の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な電気製品のプログラムの便利さやプログラミングの簡単さに気付く、身の回りの電気製品に関心を持つことができた。 ○容易にプログラムの修正ができる。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○成果として、プログラミング体験や話合いを通して、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具やプログラムで電気を制御する道具がたくさんあることに気付く、それらについて考えることができた。 ○課題として、パソコン画面上の操作では、実感がわきにくいいため、実際に LED が光る体験をさせ、児童の興味・関心を高める必要があると感じた。



同時にライトをつける様子



プログラムを作成する様子



プログラムを修正する様子